Stylist

KIKUCHI
KIKUCHI SCIENCE LABORATORY INC.

SUP-80HD
取り扱い説明書

このたびはスタイリストスクリーンをお買いあげいただきまして、
まことにありがとうございました。
お求めのスクリーンを正しく使っていただくため、お使いになる前
に必ずこの「取り扱い説明書」をよくお読みください。
お読みになったあとは大切に保存し、わからないことがおきたとき
に読みなおしてください。

映像の未来を拓くクリエイター

安全上の注意

スクリーンを正しく利用し、人や財産への損害を未然に防止するため、使い方や設置の仕方を誤ったときに生じる危害や損害の程度により次の絵表示で区分し、説明しています。
表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

◆ 下記のマークのある注意事項及び、指示内容に関しては必ずお守りください。

⚠ 警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を表しています。

⚠ 注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を表わしています。

⚠

このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」の内容を表しています。

⃠

このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容を表記してます。

❗

このような絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」の内容を表しています。

取り扱い上の不備又は天災などによって発生する事故・損傷については、当社は一切責任を負いかねます。

目　　次

安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・１

付属品・・・・・・・・・・・・・・・・・１

本機の特長・・・・・・・・・・・・・・・２

スクリーン組み立て方法・・・・・・・・・４

スクリーン取り付け方法・・・・・・・５～８

基本的な使い方・・・・・・・・・・９、１０

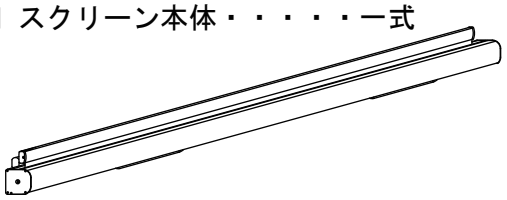
使い終わったら・・・・・・・・・１０～１２

メンテナンスノート・・・・・・・・・・１３

スクリーン面の取り扱い方法・・・・・１４

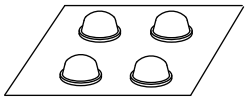
◆同梱品の確認

■ スクリーン本体・・・・・一式



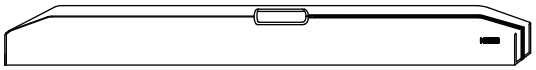
■ クッション・・・・・・・・・４個

スクリーンを床面において保管する場合やスクリーンをキャリングケースに収納する時に、スクリーンケース前面を傷つけないようにするために使います。
使い方は４ページをごらんください。



■ キャリングケース・・・・・１個

スクリーンをお使いにならない時および他の場所に持ち運びする時にご使用ください。
使い方は１２ページをごらんください。



■ スケール・・・・・１個

本機の特長

Colors

インテリアとして選ぶ“Stylist”

機能にデザインをプラスしたＫＩＫＵＣＨＩのコンセプトスクリーン “スタイリスト”

あなたの個性で、また、インテリアとのコーディネートで選べる、４色のケースバリエーション。画面周囲のマスクもグレイカラーで仕上げ、インテリアに溶け込むシルエット。シアターライフの楽しみが増えました。

Material

80inchワイドスクリーン、グレイマットアドバイス/ホワイトマットアドバンス

グレイマットアドバンス

カーテン越しの光やほのかな間接照明のリビングでもコントラストのある映像を再現します。

ホワイトマットアドバンス

迷光を抑えた暗室で、コントランスと色階調に優れた自然な映像を再現いたします。

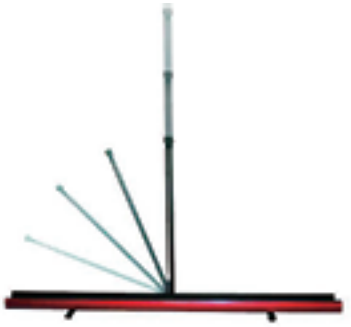
Flexibility

フロアにレイアウト、簡単にセットアップ

パーツの取り付けやツールを使った組み立てが不要なセルフスタンディングスクリーン

収納やセッティングレイアウトを選ばない手軽さです。また、セッティングアームにより、床からの映像の高さを自由に調整できます。観たいとき、観たい場所で気軽にスクリーンをセットアップ。

ケースのフットを回転させてフロアにレイアウト



セッティングアームを起こしてアームの高さを自由に調整

スクリーンを引き上げてセッティングアームに固定。

GRAY MATTE ADVANCE

◎　ピークゲイン：0.8±10%
◎　半値：85°

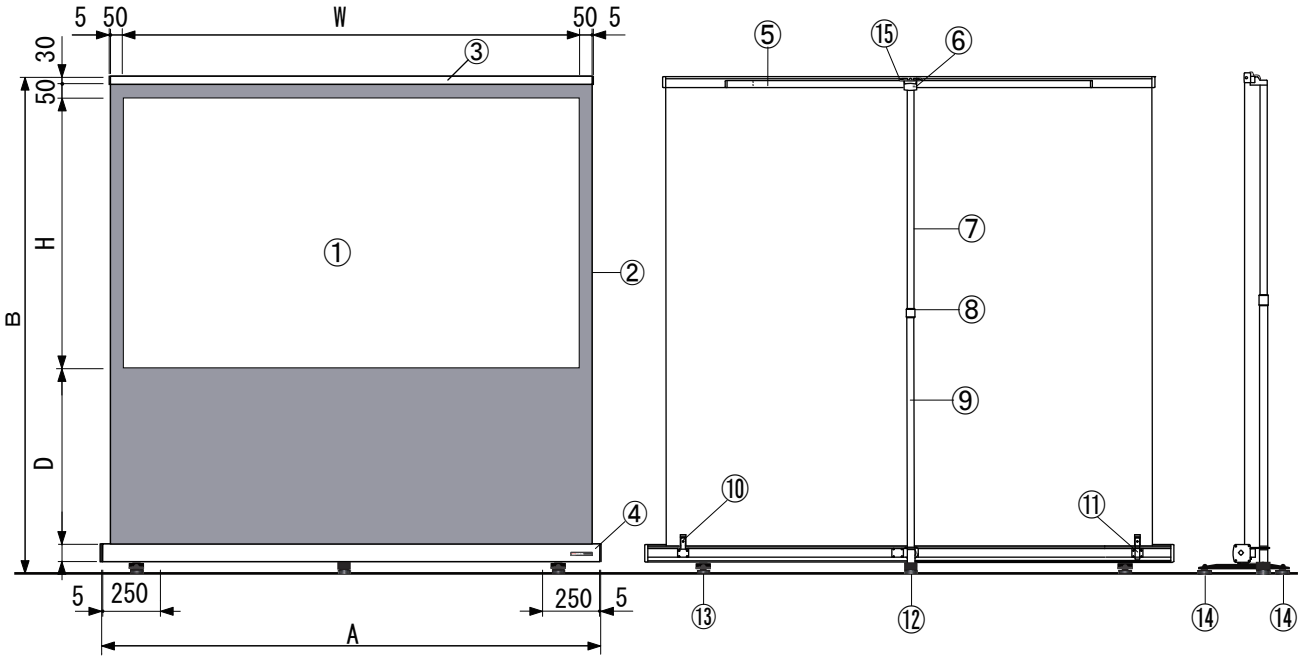
光を拡散反射するマット系スクリーンは、プロジェクターからの映像以外にカーテン越しの光や間接照明なども同時に反射して映像を劣化させます。グレイマットアドバンスは、その映像の劣化を軽減し、コントラストのあるナチュラルな映像を再現いたします。

WHITE MATTE ADVANCE

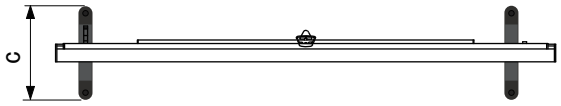
◎　ピークゲイン：0.85±5%
◎　半値：85°

表面処理に新開発の「ウルトラマイクロ・シボ」を採用しています。優れた解像度と黒からハイライトまでのコントラスト、豊かな色階調を再現。きめ細かく立体感にあふれた映像、自然な色彩表現をハイレベルに調和しています。迷光を抑えた暗室ではクリアで奥ゆきのある高品質な映像を再現いたします。

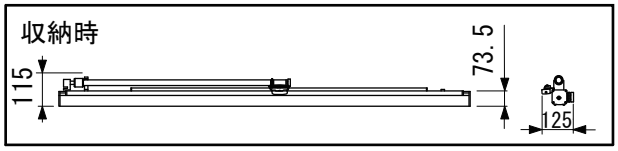
各部の名称と寸法



正面図　　背面図　　側面図



正面図



名　称

①	スクリーン面	⑨	アウターセッティングアーム
②	グレイマスク	⑩	トップバーフック
③	トップバー	⑪	セッティングアームクリップ
④	プロテクターケース	⑫	セッティングアームアジャスター
⑤	ショルダーバー	⑬	フット
⑥	セッティングアームヘッド	⑭	フットアジャスター
⑦	インナーセッティングアーム	⑮	ハンドル
⑧	コレット		

スクリーン規格一覧表

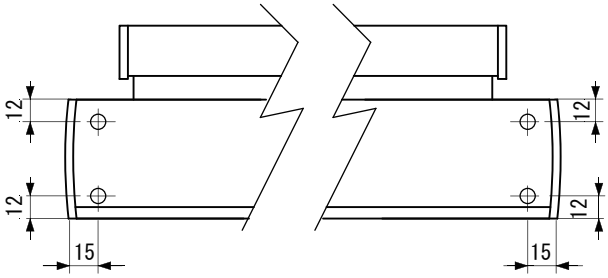
型　番		スクリーンサイズ		外形寸法			重量(Kg)
ﾎﾜｲﾄﾏｯﾄｱﾄﾞﾊﾞﾝｽ	ｸﾞﾚｲﾏｯﾄｱﾄﾞﾊﾞﾝｽ	W(mm)	H(mm)	A(mm)	B(mm)	C(mm)	
SUP-80HDWA	SUP-80HDAM	1771	996	1943	1779(最大)	400	8.4

スクリーン組み立て方法

⚠ スクリーンを組み立てる前に

スクリーンを床面において保管する場合やキャリングケースに収納する時に、スクリーンケース表面の保護のために、同梱のクッションを貼り付けします。

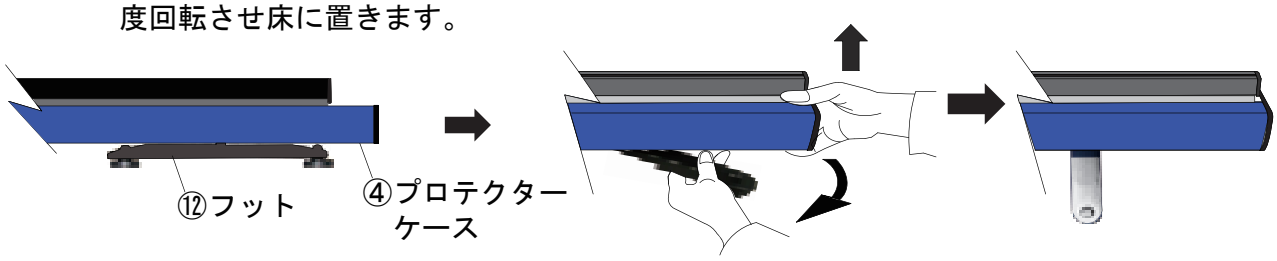
〈貼り付けする位置〉
貼り付けした後に、スクリーンをおいた時安定する位置は、おおよそ右図の寸法となります。



① フットを広げます。

プロテクターケース④についている左右のフット⑬を９０度回転させ、スクリーンを自立させます。

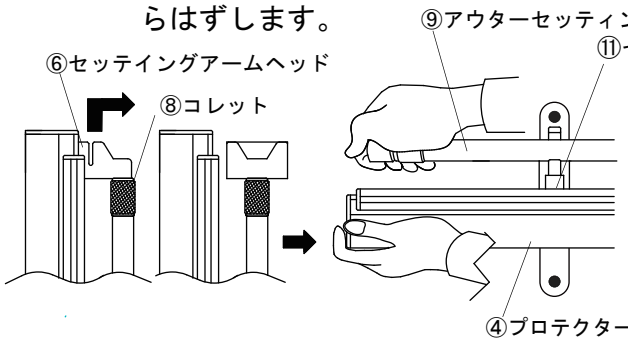
１－１　プロテクターケース④右側を片方の手で軽く持ち上げ、もう片方の手でフット⑬を９０度回転させ床に置きます。



１－２　プロテクターケース④左側も右側と同様に軽く持ち上げた状態でフット⑬を９０度回転させて床に置きます。

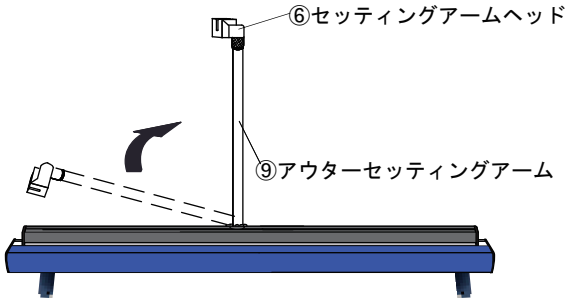
② セッティングアームを立てます。

２－１　コレット⑧を軽くゆるめセッティングアームヘッド⑥を下に向けます。
下に向けた後コレット⑧をふたたびしめてください。セッティングアームヘッド⑥を片方の手でしっかり握り、もう片方の手でプロテクターケース④の上面を軽く押さえながら、アウターセッティングアーム⑨を上に持ち上げセッティングアームクリップ⑪からはずします。



⚠ 注意　セッティングアームヘッドだけを握ってはずそうとすると、ケースごと持ち上り途中でセッティングアームクリップから脱落して思わぬけがの原因となります。必ずプロテクターケース上面を軽く押さえてはずしてください。

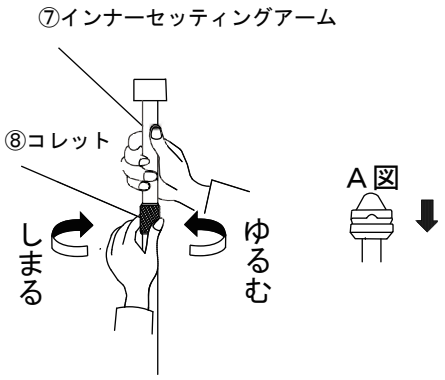
２－２　アウターセッティングアーム⑨をゆっくりと時計回りに回転させて、ストッパー位置で止まるまで立ち上げます。



⚠ 注意　ストッパー金具の変形や破損の原因となりますのでアウターセッティングアームをストッパー位置以上に回転させないでください。

スクリーン取り付け方法

２－３　コレット⑧をゆるめ、きき手でインナーセッティングアーム⑦をしっかりと握り、あらかじめ約150㎜の高さまで引き上げ立ち上げた後セッティングアームヘッド⑥の向きをＡ図の様に必ずスリットのあるほうを前にしてコレット⑧をしっかりと締めます。

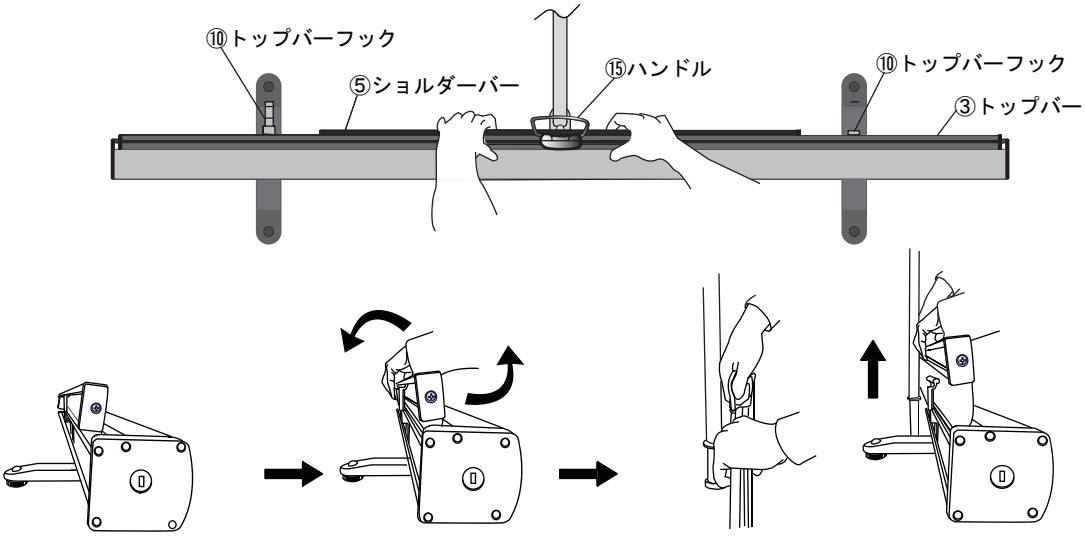


⚠ 注意	コレットをゆるめる時は、必ずきき手でインナーセッティングアームをしっかりと握り操作してください。軽く握っていると、インナーセッティングアームが急激に降下し危険です。
	手をはさまないよう気をつけてください。
⚠ 注意	セッテイングアームクヘッドは必ずスリットのあるほうを前にしてたててください。

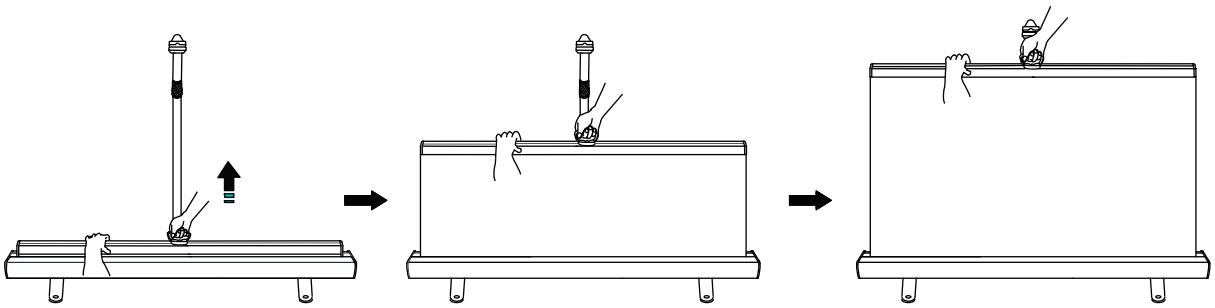
③ スクリーンをセッティングアームヘッドに取り付けます。

⚠ スクリーンをセッティングアームヘッドに取り付けするときは、必ずスクリーンの前方からおこなってください。

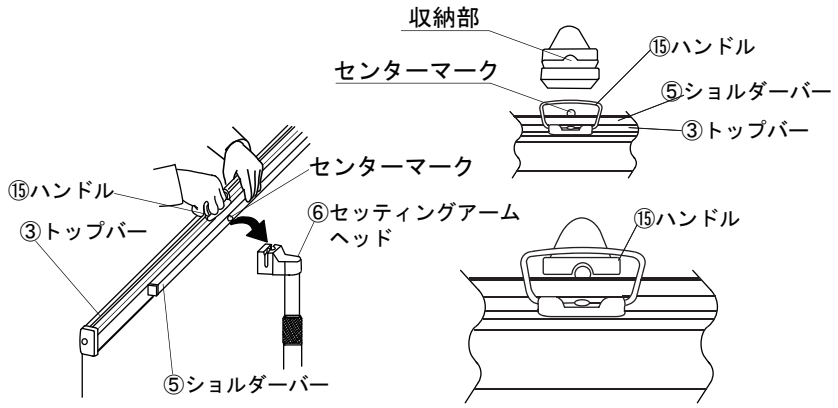
３－１　トップバー③をトップバーフック⑩からはずします。
前方より両手でトップバー③前面とショルダーバー③を両手でしっかりと握り、手前に軽く引くように回転させてトップバーフック⑩からはずし、完全にはずれたことを確認したらきき手をトップバー③中央にあるハンドル⑮に持ちかえて、しっかりと握ってください。



３－２　セッティングアームヘッド⑥にショルダーバー⑤を差し込みます。
ハンドル⑮とトップバー③及びショルダーバー⑤をしっかりと握ったまま、スクリーンを引き上げ、ショルダーバー⑤中央のセンターマークをセッティングアームヘッ⑥ドの収納部に合わせて差し込みます。



⚠ ハンドルだけでなく、もう片方の手でしっかりトップバーとショルダバーを握って操作してください。



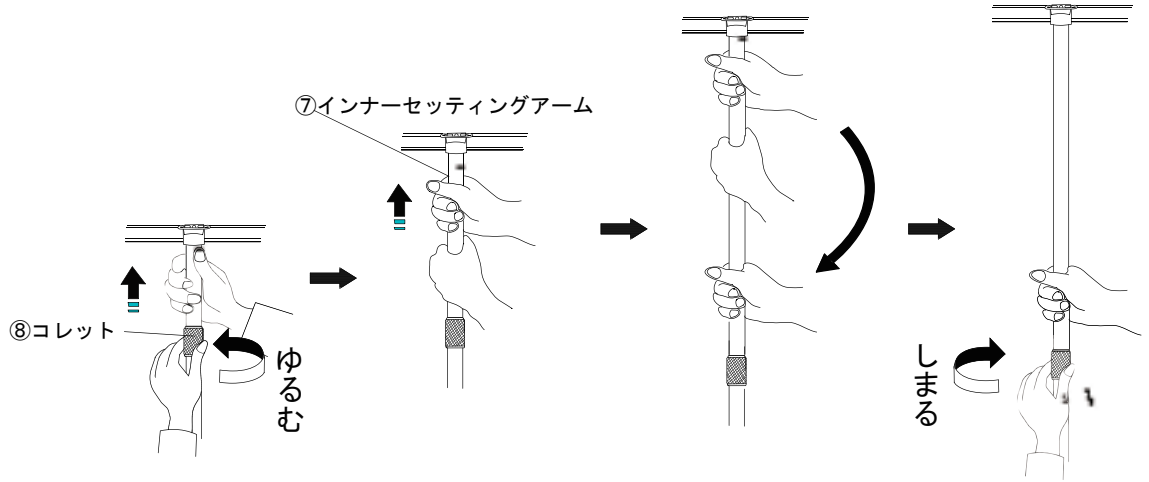
🚫 ハンドルはスクリーンを引き上げるためのもので、セッティングアームヘッドへの吊り下げ用ではありません。脱落破損の恐れがありますので絶対にかけないように注意してください。

⚠ スクリーンのトップバーのセンターマークがセッティングアームヘッドにしっかり差し込まれたか必ずご確認ください。

④ スクリーンの高さを調整する。

４－１　高いアイレベルの位置（ダイニングなどの椅子やオフィス用の椅子などでご覧になる時＝1200㎜）に調整する場合

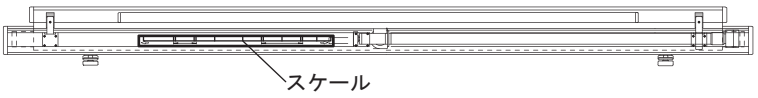
スクリーンの裏側からコレット⑧を緩めた状態でインナーセッティングアーム⑦を左右の手で交互に握りながらインナーセッティングアーム⑦内のストッパーがきいて停止する位位置まで上に持ち上げていき、しっかりとコレット⑧を締めます。



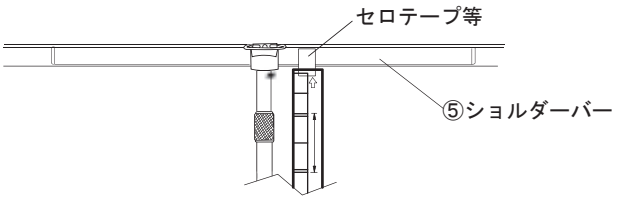
⚠ 注意
- インナーセッティングアームを上げるときは、必ずしっかりと握りながら操作してください。軽く握っているとインナーセッティングアームが急激に降下し、思わぬケガの原因となります。
- コレットは締めすぎないでください。

手をはさまないよう気をつけてください。

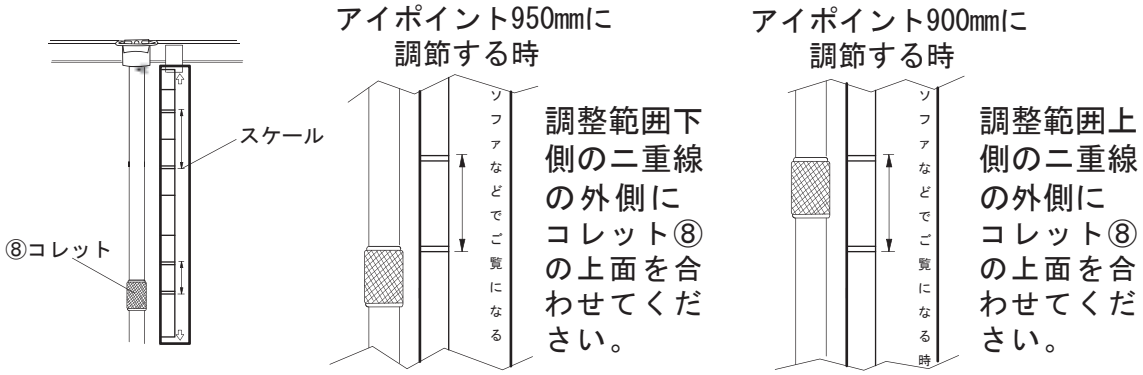
４－２　中間のアイベルの位置（ソファなどでご覧になる時＝950～900㎜）に調整する場合
簡易にこの高さを調整するために、プロテクターケース④の裏面左側にスケールが同梱されていますので、これをご使用ください。



４－２－１　スケールの上部をショルダーバー⑤にセロテープなどを利用して固定します。



４－２－２　スケールに印刷された「ソファなどでご覧になる時の調整範囲」までインナーセッティングアーム⑦を４－１のようにして引き上げコレット⑧を締めます。

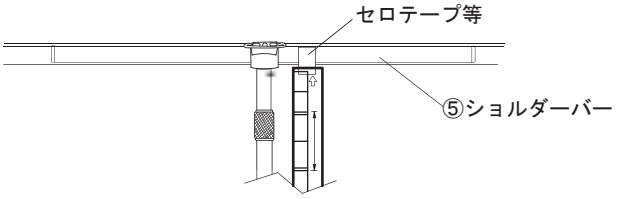


注意
- インナーセッティングアームを上げるときは、必ずしっかりと握りながら操作してください。軽く握っているとインナーセッティングアームが急激に降下し、思わぬケガの原因となります。
- コレットは締めすぎないでください。
- この高さ調整は目安ですので、お客様の使いやすい高さに調節してご使用ください。

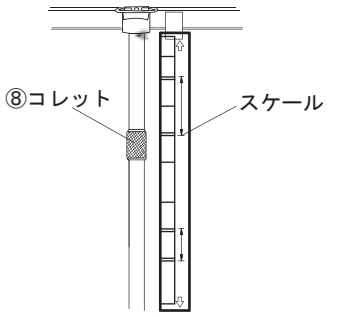
手をはさまないよう気をつけてください。

４－３　低いアイレベルの位置（カウチなどでご覧になる時＝700～600㎜）に調整する場合簡易にこの高さを調整するために。４－２でも使用したスケールをご利用ください。

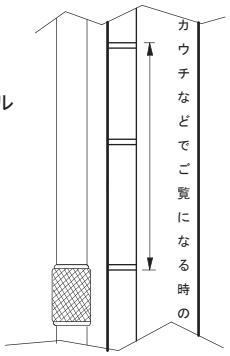
４－３－１　スケールの上部をショルダーバー⑤にセロテープなどを利用して固定します。



４－３－２　スケールに印刷された「カウチなどでご覧になる時の調整範囲」までインナーセッティングアーム⑦を４－１のようにして引き上げコレット⑧を締めます。

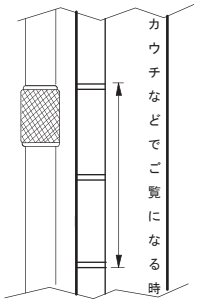


アイポイント700㎜に
調節する時



調整範囲下側の二重線の外側にコレット⑧の上面を合わせてください。

アイポイント600㎜に
調節する時



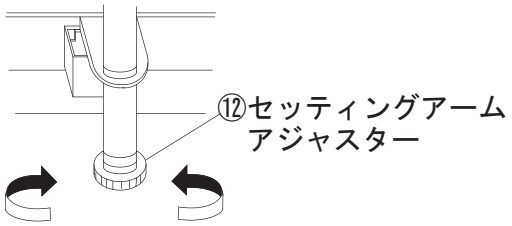
調整範囲上側の二重線の外側にコレット⑧の上面を合わせてください。

注意
- インナーセッティングアームを上げるときは、必ずしっかりと握りながら操作してください。軽く握っているとインナーセッティングアームが急激に降下し、思わぬケガの原因となります。
- コレットは締めすぎないでください。
- この高さ調整は目安ですので、お客様の使いやすい高さに調節してご使用ください。

手をはさまないよう気をつけてください。

⑤ セッティングアームの直立を調整します。

スクリーンを引き出した時にセッティングアームの後傾と転倒防止のために、セッティングアーム底部の-セッティングアームアジャスター⑧で調整します。(セッティングアームアジャスターは、出荷時に一番短い位置で調整されています。)
フットアジャスターの調整が完了した後に、セッティングアームアジャスター⑫を床に接するまで時計回りに回転させます。セッティングアジャスター⑫の調整範囲は、最大で10回転高さ12.5㎜までです。

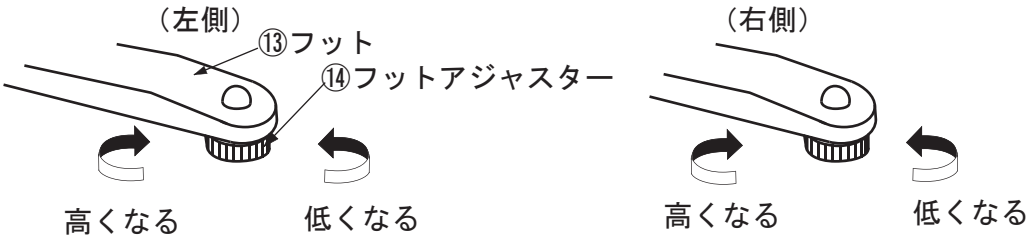


注意 セッティングアームアジャスターの回転は必ず調整範囲内でおこなってください。

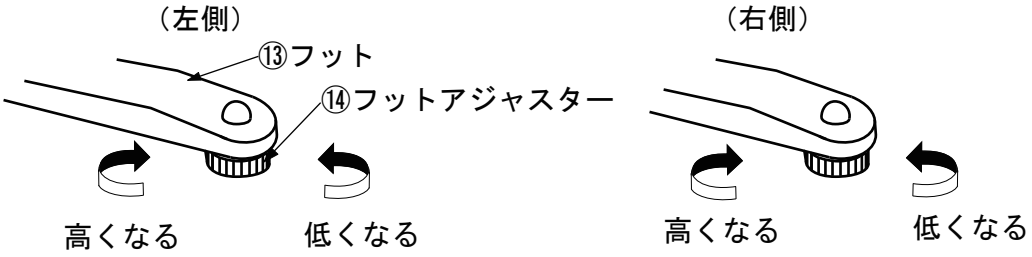
⑥ スクリーンの直立を調整する。

設置する床面の状態によってはスクリーンが床面に対して直立しないことがあります。この場合はフット⑧先端のフットアジャスター⑭で調節します。(フットアジャスターは、出荷時に一番短い位置で調整されています。)

６－１　フット⑬を横から見た時に前側にすき間がある場合は、前側のフットアジャスター⑭を時計回りに回転させてフット⑬の前側を高くして調整します。この状態でスクリーンが前傾している場合は、左右のフット⑬の前側のフットアジャスター⑭を同じ回数だけ回転させて高くしていき、直立するまで調整します。フットアジャスター⑭の調整範囲は最大で５回転(高さ＝８mm)までです。



６－２　フット⑬を横から見た時に後側にすき間がある場合は、後側のフットアジャスター⑭を時計回りに回転させてフット⑬の後側を高くして調整します。この状態でスクリーンが後傾している場合は、左右のフット⑬の後側のフットアジャスター⑭を同じ回数だけ回転させて高くしていき、直立するまで調整します。フットアジャスター⑭の調整範囲は最大で５回転(高さ＝８mm)までです。

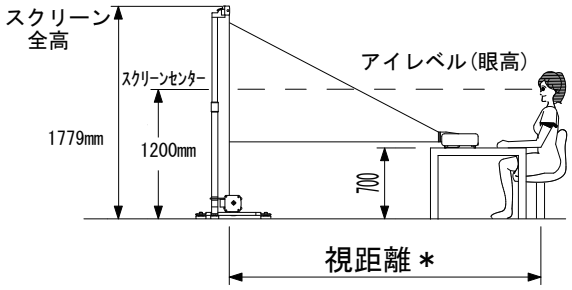


⚠ フットアジャスターの回転は必ず調整範囲内でおこなってください。

基本的な使い方

スクリーンで映像をご覧になる時、スクリーンセンターがアイレベル（眼高）とほぼ同じ高さになる様にスクリーンの高さを調整する必要があります。この高さは座る椅子や用途によって異なります。

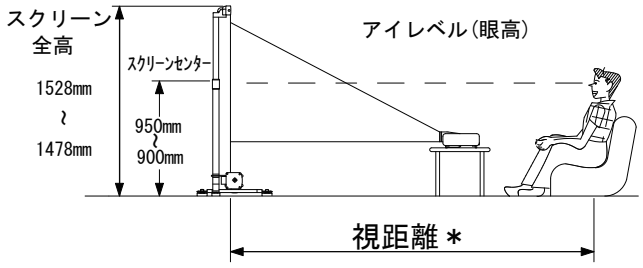
■ホームシアターユースの場合
・ダイニングなどの椅子でご覧になる時



＊視距離
プロジェクターの投射距離によって変化しますが、およその目安として画面高さ(H)の２倍から４倍の間となります。

ダイニングなどの椅子に座った時のアイレベルの高さは、およそ1200mmとなりスクリーンセンターをこの高さに合わせる場合は、下部グレイマスクを最大610mm（スクリーン全高＝1779mm）に設置するとほぼ同じ高さになります。

・ソファなどでご覧になる時

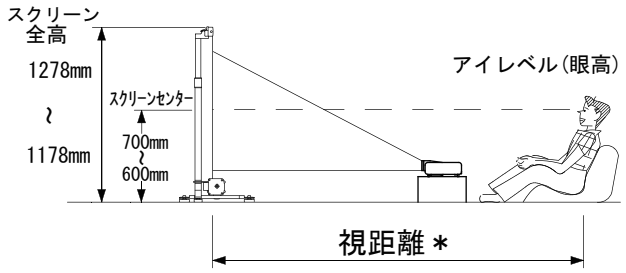


＊視距離

プロジェクターの投射距離によって変化しますが、およその目安として画面高さ(H)の２倍から４倍の間となります。

ソファなどに座った時のアイレベルの高さは、およそ900～950mmとなりスクリーンセンターをこの高さに合わせる場合は、下部グレイマスクを309～359mm(スクリーン全高＝1478～1528mm)に設置するとほぼ同じ高さになります。

・カウチ(座椅子)などでご覧になる時

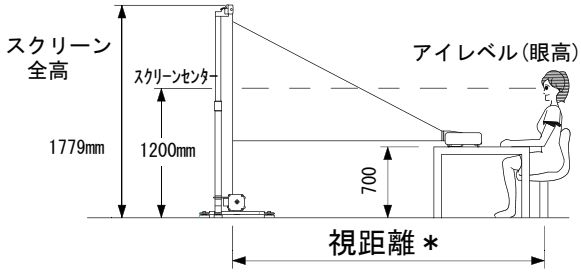


＊視距離
プロジェクターの投射距離によって変化しますが、およその目安として画面高さ(H)の２倍から４倍の間となります。

カウチ(座椅子)などに座った時のアイレベルの高さは、およそ600～700㎜となりスクリーンセンターをこの高さに合わせる場合は、下部グレイマスクを9～109㎜(スクリーン全高＝1178～1278㎜) に設置するとほぼ同じ高さになります。

■ビジネスユースの場合

・オフィス用椅子などでご覧になる時



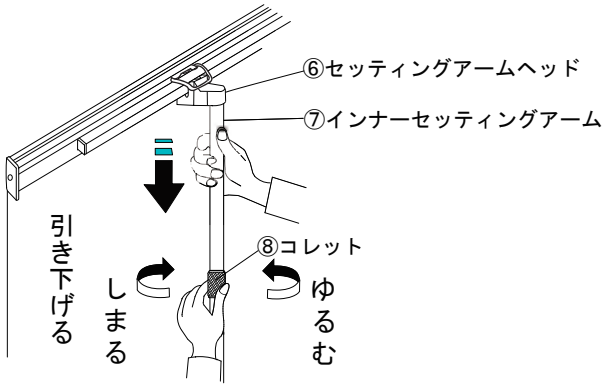
＊視距離
プロジェクターの投射距離によって変化しますが、およその目安として画面高さ(H)の２倍から４倍の間となります。

オフィス用の椅子に座った時のアイレベルの高さは、およそ1200㎜となり、スクリーンセンターをこの高さに合わせる場合は、下部グレイマスクと最大610㎜(スクリーン＝1779㎜)に設置するとほぼ同じ高さになります。

使い終わったら

映像を見終わったらスクリーンを収納して保管します。

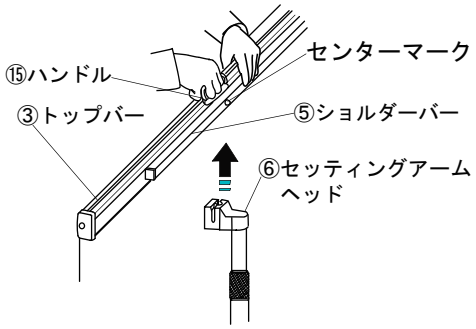
① セッティングアームを下げます。

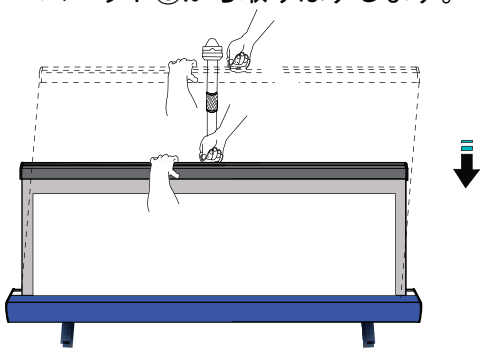


② スクリーンをセッティングアームヘッドからはずします。

⚠ スクリーンをセッティングアームヘッドからはずすときは必ずスクリーンの前方からおこなってください。

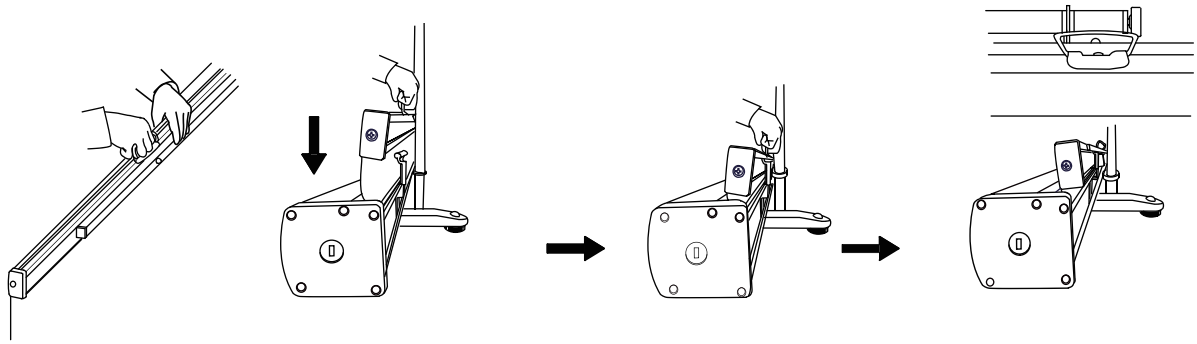
２－１　きき手でハンドル⑮をもう片方の手でトップバー③前面とショルダーバー⑤をしっかりと握ったまま、3㎝程上に持ち上げてセッティングアームヘッド⑥から取りはずします。





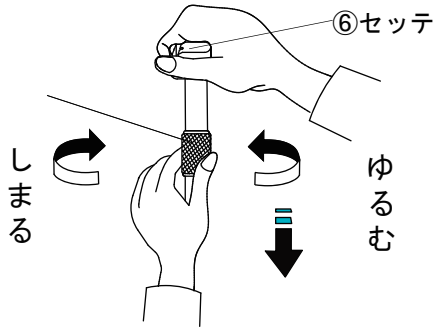
⚠ トップバーをセッティングアームヘッドから取りはずした時に、ハンドルの取り付け位置の関係でトップバー全体が手前に回転しますので、しっかりと握ってください。

２－２　ハンドル⑮とトップバー③及びショルダーバー⑤をしっかりと握ったままスクリーンをゆっくりと引き下げて、トップバー③内部のスリットとトップバーフック⑩を合わせ軽く押し込んでください。ハンドル⑮は、アウターセッティングアーム⑨側に倒して収納します。

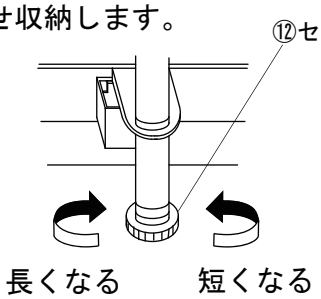


③ セッティングアームを収納位置まで下げてセッティングアームクリップに取り付けます。

３－１　セッティングアームヘッド⑥をきき手でしっかりと握ったまま⑧コレットをゆるめ、セッティングアームヘッド⑥の下面がコレット⑧の上面に当たるまでゆっくり下げ、セッティングアームヘッド⑥を左側に向けコレット⑧をしっかりとしめます。

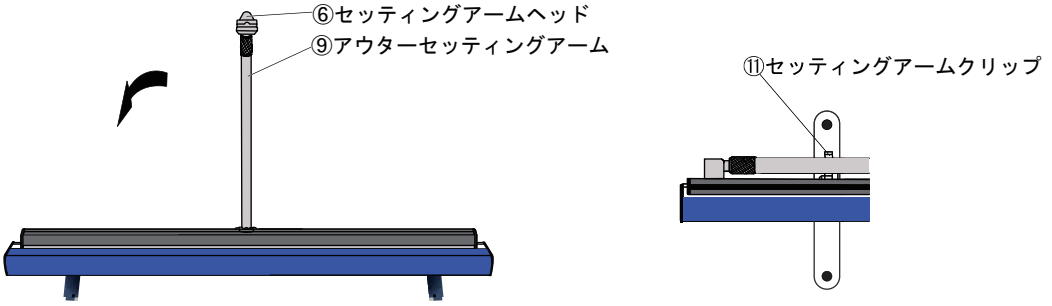


３－２　セッティングアーム底部のセッティングアームアジャスター⑫を一番短い位置まで回転させ収納します。



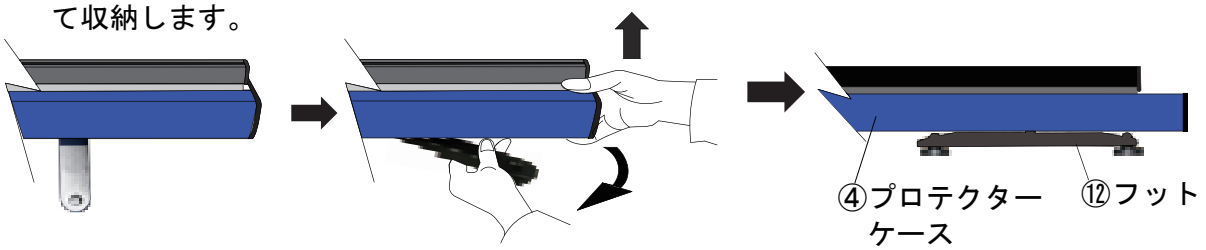
⚠ 注意　セッティングアームアジャスターを短い位置まで戻さないでセッティングアームをセッティングアームクリップに戻すとフロアを傷つける場合がありますので、必ずセッティングアームアジャスターを一番短い位置まで回転させ収納してください。

３－３　セッティングアームヘッド⑥をもってゆっくりと左へ回転させて、セッティングアームクリップ⑪のスリットへアウターセッティングアーム⑨を「カチッ」というまで押し込みます。



④ フットを収納位置にもどします。

４－１　スクリーン左側を片方の手で軽く持ち上げ、もう片方の手でフット⑬を９０度回転させて収納します。

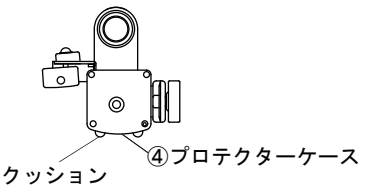


４－２　スクリーン右側も左側と同様に軽く持ち上げた状態でフット⑬を９０度回転させて床起におきます。

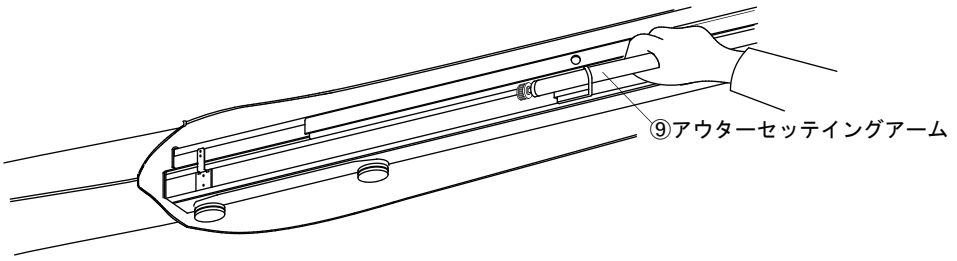
⑤ キャリングケースに収納して保管します。

お使いにならない時および他の場所へ持ち運ぶ場合は、キャリングケースに収納して保管や移動することをおすすめします。

５－１　あらかじめ、プロテクターケース④面を下にしてください。



５－２　キャリングケースのジッパーをあけ、アウターセッティングアーム⑨の根本付近をもって、セッティングアームの無い部分からキャリングケースの中へ入れこんでジッパーをしめます。



⚠ スクリーンをご使用にならない場合は必ずキャリングケースに入れ、水平に保管してください。立てかけたまま放置しないでください。転倒によりスクリーンが傷ついたりケガする恐れがあります。

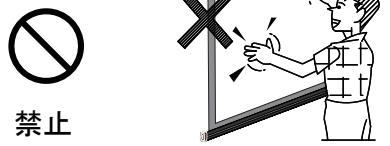
メンテナンスノート

⚠注 意

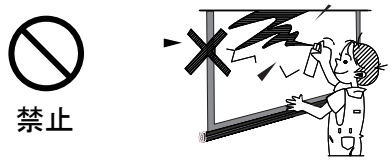
スクリーン面は反射性能を特別に強力にするために、スクリーン表面が特殊な構造となっています。傷や汚れがつくと、映写効果を損なう恐れがありますので、次のことに十分注意をして丁寧にお取り扱いください。

使用上のご注意

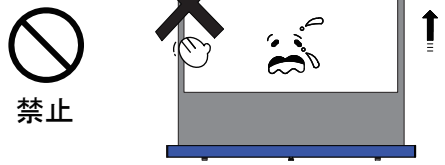
- スクリーン面に手をふれないでください。



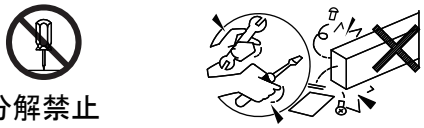
- スクリーン面に文字などを書かないでください。スクリーン面に書かれたものは、筆記用具の種類を問わず消すことができません。



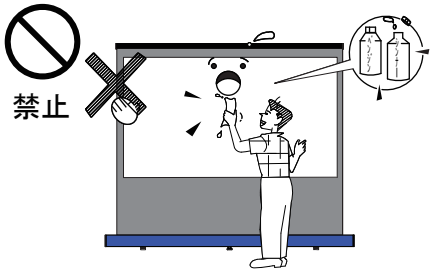
- スクリーンを無理に引き上げないでください。スクリーンが脱落する恐れがあります。



- ケースは絶対にあけないでください。故障のときはお買い上げの販売店にご相談ください。



- 水を湿らせた布やベンジン、シンナー等でスクリーン面をふかないでください。スクリーンの表面が変質したり塗料がはげたりします。



お手入れのしかた

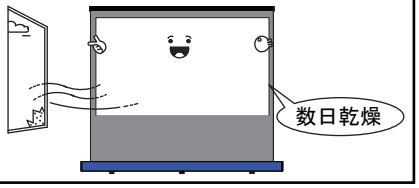
- ケースの汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた洗剤にひたした布を絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

- スクリーン面のほこりをとるときは、柔らかいブラシで軽く払ってください。

置き場所・保管についてのご注意

- 直射日光の当たる場所、ホコリや湿気の多い場所や熱気具のそばなど、直接熱が当たる場所は変形・故障や事故の原因となります。又、高温の車中への放置もさけてください。

スクリーン表面は出荷前に充分乾燥させていますが, 万一ニオイが強い場合は、窓を開け風通しを良くし、数日乾燥させてください。



KIKUCHI
KIKUCHI SCIENCE LABORATORY INC.

株式会社　キクチ科学研究所
本　　社　〒161－0033　東京都新宿区下落合3－12－35
TEL. 03-3952-5131(代)　FAX. 03-3953-0051

大阪営業所　〒550－0014　大阪府大阪市西区北堀江1－6－24
Y’sピアアクセス心斎橋7F
TEL. 06-6538-6070(代)　FAX. 06-6537-2321

戸田MLC　〒335－0031　埼玉県戸田市美女木7－13－6
TEL. 048-422-3821(代)　FAX. 048-422-3844

http://www.kikuchi-screen.co.jp/

KIKUCHI SCIENCE.LAB 2005.8 SUP-80HD RW